自然科学書協会 会報
NSPA JAPAN

THE NATURAL SCIENCE PUBLISHERS' ASSOCIATION OF JAPAN

2023 年 11 月 10 日　No.4
（通算 105 号）

目　次

1. 新委員長のご挨拶と抱負 …… 2
2. 新役員紹介 …… 5
3. 第 73 期・74 期役員一覧・委員会等役務分担表 …… 6
4. 第 73 期・74 期委員会委員一覧表 …… 6
5. 事務局員 髙山美恵子さんの退任のご挨拶 …… 7
6. 新事務局員 柳橋和美さんの着任のご挨拶 …… 8
7. 出版平和堂第 55 回出版功労者顕彰会報告（広報委員会） …… 9
8. 事務局だより …… 10
9. 編集後記 …… 11

発行人：池田 和博 / 編集：広報委員会
一般社団法人 自然科学書協会
https://www.nspa.or.jp/
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-101 神保町 101 ビル 3 階
TEL：03-5577-6301

◆　1．新委員長のご挨拶と抱負　◆

● 販売・出展委員会（委員長　吉野 和浩：裳華房）

この度、販売・出展委員長を拝命いたしました。何分にも浅学非才のため、行き届かない点が多々あろうかと思いますが、朝倉副委員長（朝倉書店）ならびに 14 名の委員の方々のお力をお借りして責務を果たして参りたいと思います。

当委員会の事業内容は「国内外での展示・販売フェアを実施する」と掲げており、国内書店店頭における「自然科学書フェア」の開催を柱とし、今までの経験を活かし、さらなる自然科学書の普及および当協会の認知度向上に取り組んで参ります。

また、国外フェアにつきましては、引き続き状況を注視して参ります。

会員各社様および関係各位におかれましては、引き続きご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 広報委員会（委員長　牛来 真也：コロナ社）

この度、広報委員長を仰せつかりました。前期からの留任となりますが、新たな気持ちで曽根副委員長（化学同人）のお力添えを賜りながら、個性的で有識な 8 名の委員とともに 2 年間運営して参りたいと思います。

さて、当委員会には協会の活動内容や存在意義を広く周知していく使命があります。会員各社はもちろんのこと、業界全体にも今まで以上に伝えていくという観点から、以下の 3 点が当委員会の主な活動内容となります。

〇会報の発行（1 月、4 月、7 月、10 月の年 4 回）
〇ホームページの情報更新
〇業界関係メディアへの協会活動の PR

会報につきましては、電子版会報は今期も継続して参りますが、一方で読みやすさや内容についてはまだまだ改善の余地があると思います。この点は委員会で検討し、会員各社にご満足いただける会報になるよう努力して参ります。

また協会のホームページの情報更新につきましても、迅速かつ有益な情報を見やすい形で発信して参ります。

まだまだ当協会に関する業界内の認知度は低いので、対外的な PR 活動はインターネットや業界紙等を通じて、積極的に行っていく所存です。

引き続き、皆様方のご理解とご協力ならびにご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

● **著作・出版権委員会**（委員長　筑紫 和男：建帛社）

この度、著作・出版権委員長を仰せつかりました。第 69～72 期の 4 年間は梅澤俊彦委員長の下で副委員長を務めて参りました。その経験を活かし、浅学の私より知識も豊富な小立健太副委員長（南江堂）および各社を代表してご協力いただいております委員の方々に支えていただきながら活動して参りますので、よろしくお願いいたします。

当委員会の活動は、当協会が事業計画として掲げる著作権の普及と啓発について、主には①会員各社への著作権に関する知識の普及を行うことや相談事項に対応すること、②著作権関連団体の活動に協力すること、の 2 つが挙げられます。①については、書籍の電子化に対応してきた改正著作権法への対応など、時代とともに変化が求められております。広報委員会や研修委員会とも連携し、知識の普及に後れを取らないよう図って参ります。②については、今期の事業計画に示されていたように、出版者著作権管理機構（JCOPY）、授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）、昨年（2022 年）11 月に発足した図書館等公衆送信補償金管理協会（SARLIB）の活動に当協会も構成団体として参加しており、活動の幅が拡大してきております。教育・研究分野において、専門書出版社の書籍は広く活用されることが予想されますので、会員社ひいてはその著作権者が不利益を被らないよう動向を注視して提言して参ります。同時に、複雑になりがちな他団体活動の経緯を会員各社へ情報提供できるよう心掛けていきたいと思います。

会員皆様のお力添えを賜り委員会を無事に運営できますよう、ご指導のほどお願い申し上げます。

● **研修委員会**（委員長　片岡 一成：恒星社厚生閣）

この度、研修委員長を拝命いたしました。直前 2 期から引き続き職務継続を仰せつかり身の引き締まる思いです。初心に立ち返り精一杯努めて参ります。

前任期中は、理事および研修委員の方々に、企画立案から運営に至るまで多大なご助力をいただきました。おかげさまで、COVID-19 の影響下にありながらも、リモート講演会へステージを移して委員会活動を遂行することができました。感謝いたします。

前任期中は、主に会員各社向けの研修会開催に主眼を置いて取り組みました。主なものとして、税制改正への備え、著作権取り扱いの新しい常態、電子図書館市場の動向、国際書籍分類 Thema の紹介、Web マーケティングの現状など、様々なテーマを取り上げました。

加速しながら変化していく時代にあわせて、時々刻々、アップデートを怠れない昨今ですが、新たな任期におきましても、金原俊副委員長（医学書院）ならびに 6 名の委員の方々にお力添えをいただきつつ、会員各社の発展の一助となるような情報提供ができるよう、アンテナを張り巡らせて努めて参りたく存じます。何卒、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

● **総務委員会**（委員長　白石 泰夫：医歯薬出版）

第 71 期・72 期に引き続き、第 73 期・74 期の総務委員長を仰せつかりました医歯薬出版の白石と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

2020 年 3 月以降、総務委員会として継続的に取り組んできた大きな課題は、COVID-19 のパンデミック影響下において、いかにして協会活動を安全にかつ安定的に維持させるかであったかと存じます。会員各社、理事各位、事務局のご協力の下、Web 会議の環境を整備し、リモート開催形式による理事会・総会運営を実行して、なんとかその課題に取り組んできた 3 年余りだったと考えています。またこの機に、今後の新たな感染症による問題発生や気候変動による自然災害への備えも考慮し、イベント類の対面・リモート開催を判断するための覚書も作成しました。

ようやくパンデミックが一段落し、これからは協会事業、委員会活動も通常運転となっていくと考えますが、この間に得たノウハウやツールは今後も活かしつつ様々な課題に取り組んで参ります。

森田副委員長（緑書房）、飯塚委員（産業図書）のご協力を仰ぎながら、まずは事務局員の交代に伴う業務引継をスムーズな形で進めること、インボイス制度や電子帳簿保存法への対応を過不足なく実行することが当面の課題と考えています。そして中期的な課題として 80 周年記念事業へ向けて、協会運営に微力ながら尽力する所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆　2．新役員紹介　◆

● 小立 健太 理事（南江堂）

この度の役員改選で理事に就任し、著作・出版権委員会の副委員長を拝命しました。2 年前に監事に就任したばかりで、協会活動についてはまだまだわからないことも多々ありますが、円滑な運営に微力ながらも貢献できるよう尽力して参ります。

特に著作権の問題は日々状況が変化している中にあり、当委員会の果たす役割は非常に重要なものであると認識しております。このようなタイミングで恐れ多くも副委員長として従事させていただくことは身に余る重責ではありますし、私自身長いこと営業畑に身を置いていたため、恥ずかしながら著作権等の編集に関連する知識に乏しくはありますが、出版業界の今後の発展のためにも精進して参る所存であります。

著作権以外にも、物流の問題、DX や AI などデジタル化への取り組みなど、我々の業界を取り巻く課題は枚挙にいとまがありません。知識の伝達や向上、技術の発展や普及などあらゆる文化の継承を担う出版業界を今後も継続かつ発展できるよう、協会全体の活動に誇りをもち取り組んで参ります。会員各社の皆様には、これまでにも増してご指導ご鞭撻を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

● 及川 雅司 監事（養賢堂）

この度、監事を拝命いたしました及川雅司です。メーカーでの開発に長らく携わっておりましたが、2017 年に出版業界に移りました。以前から業界の方々とは顔を合わせる機会があり、馴染みある業界の団体で役員として尽力できること、大変有意義なものと思っております。

出版業界は必ずしも余裕のある状況にあるとはいえないばかりではなく、生産年齢人口の減少、知識集約型経済の拡大、働き手・働き方の多様化など、社会の潮流も大きな変革期にあります。また、著作権法の一部改正にともなう課題も出てきております。一方で、文部科学省が STEAM 教育を推進していることは、自然科学書協会の会員各社にとって、よい機会であるとも感じております。

監事は、財務会計だけではなく、法人の経営全体が適切かつ効率的に機能しているかについて監査することが求められています。出版業界に身を置いてからの 6 年は、業界のスタンダードに驚かされることも多くありました。今でこそ、理解を深めてきているところではあるものの、まだまだ勉強中の身でございます。より一層精進し、これまでの異業種での経験も活かしつつ、広い視野をもって、池田理事長のリーダーシップの下、監事として運営に携わって参ります。

◆　3．　第 73 期・74 期役員一覧・委員会等役務分担表　◆

● **第 73 期・74 期役員一覧**
https://www.nspa.or.jp/aboutus/board_member/

● **第 73 期・74 期委員会等役務分担表**
https://www.nspa.or.jp/aboutus/division/

◆　4．　第 73 期・74 期委員会委員一覧表　◆

● **第 73 期・74 期委員会委員一覧表**
https://www.nspa.or.jp/aboutus/committee/

◆　5．事務局員 髙山美恵子さんの退任のご挨拶　◆

15 年間の感謝

自然科学書協会に入職いたしまして、この 10 月で丸 15 年になりました。50 歳というすでに若くないときに採用していただき、65 歳の定年を迎えるまで勤められましたことは、協会会員社様、歴代の役員の皆様、委員会委員の皆様のご理解とご支援のおかげと心より深く感謝申し上げます。

15 年前、文化産業信用組合様の 1 階の机だけのがらんとした 1 室で業務を始めたときは、不安ばかりでございました。それまで協会の事務局機能を業務委託の形で行っておられた文化産業信用組合様より引き継ぎ、事務局としてどのように業務を進めていけばよいのか、戸惑いの日々だったと記憶しております。

公益社団法人制度の変更に伴い、2011 年から一般社団法人への移行のため公益目的支出計画を進め、2017 年に移行認可されましたが、法人移行にかかわる一連の業務が一番心に残っております。その間、実施事業となっておりました、自然科学書協会講演会、東京国際ブックフェア、自然科学書フェア、フランクフルトブックフェア・北京国際図書展示会への出展など、本当に委員会活動が活発に行われました。無事移行ができましたのも、それぞれの事業にかかわってくださいました役員の皆様、委員の皆様、もとより会員社の皆様のご理解ご協力のおかげでございます。

COVID-19 の影響で、ここ数年は事業もなかなか行えない状況が続いておりましたが、そのような状況の中でも地方での自然科学書フェアの開催や Zoom を使っての研修会の開催など、委員の皆様の努力で行われて参りました。ありがとうございました。

自然科学書協会は 3 年後の 2026 年に創立 80 周年を迎えます。長い歴史を刻んでこられた協会に 15 年間事務局員として勤務できましたことは大変光栄なことと思っております。大変お世話になりましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。

末筆ではございますが、会員社様と当協会の益々の発展を祈念申し上げております。

（事務局　髙山 美恵子）

◆　6．　新事務局員 柳橋和美さんの着任のご挨拶　◆

この度、9 月 1 日付で自然科学書協会に着任いたしました。何卒、よろしくご指導いただきますようお願いを申し上げます。現在、前任の髙山様より業務の引き継ぎを行っております渦中にて、その業務の守備範囲の広さに圧倒される毎日が続いており、未経験分野の業務等々も重なり満腹・消化不良の日々を送っております。このような状況下ではありますが同協会の歴史、定款、会員各社様の概要を学び、一日でも早く業務に慣れ、お役に立ちたいと思っております。

前職では販売・管理、渉外業務の各場面で同協会会員各社の皆様には多方面で大変お世話になっておりました。書店店頭、ネット書店、流通現場等で見て・聞いて、経験してきたことが同協会への着任の御縁となっております。人生百年と言われる中での数十年を出版業界で過ごして参りましたが、広くて薄かったのか…勉強不足が多々あります旨、ご容赦いただければ幸いです。時の流れに追いつくのがしんどい昨今ではありますが「一期一会」を銘として励んで参りたいと存じます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

（事務局　柳橋 和美）

◆　7．出版平和堂第 55 回出版功労者顕彰会報告　◆

本会は例年 10 月の第一金曜日に箱根で開催されるのですが、今年は諸事情により約 2 週間遅れの 10 月 25 日（水）の開催となりました。そのため例年よりやや紅葉が進んでいました。また箱根は東京より気温が 10℃も低く、夏用のスーツを着て参加したところ、日中でも寒いと感じるほどでした。昨年はあいにくの雨天のため出版平和堂での式典はできませんでしたが、今回は晴天に恵まれ、頂上がうっすらと雪化粧している富士山を間近で見ることができました。

今回は 11 名の故人の方が新顕彰者となりました。なお、自然科学書協会の会員社（元会員社も含む）の新顕彰者は今回はおりません。

第 1 部の顕彰会は正午から出版平和堂（神奈川県箱根町）で維持団体の代表者（当協会もその一つであり、池田理事長が参加）によるご挨拶・新顕彰者名の奉告、献詞がありました。また参加者全員による黙祷、献花も行われました。

第 2 部は芦ノ湖湖畔にある箱根ホテルへと移動し、13 時から顕彰者の方々への敬意と感謝の念を込めて献杯をし、ご遺族・関係者の方々との昼食会となりました。式典は滞りなく 14 時に閉会となりました。

（広報委員会　牛来 真也）

献花をする池田理事長（左側）

◆　8.　事務局だより　◆

● 理事会

＜第 73 期＞

・7 月 19 日（水）／出版クラブホール・会議室
・8 月　7 日（月）／KKR ホテル東京
・9 月 21 日（木）／文化産業信用組合
・10 月 19 日（木）／文化産業信用組合

● 正副理事長会議

＜第 73 期＞

・7 月 26 日（水）／出版クラブホール・会議室

● 委員会

＜第 73 期＞

・10 月 10 日（火）広報委員会／文化産業信用組合
・10 月 18 日（水）研修委員会／オンライン形式（Zoom）

■「年末会員懇親会」開催のお知らせ

COVID-19 の感染状況により開催を見送っておりましたが、4 年ぶりに 12 月 7 日（木）18 時より如水会館にて「年末会員懇親会」を開催致します。会員社の代表者、委員会委員の方々ならびに関連団体代表者の皆様にもご参集いただきまして、この 1 年の締めくくりと、相互交流を深める一夕にしていただきたいと思っております。多くの方のご出席をお待ちしております。

◆ 9. 編集後記 ◆

今回から新体制での広報委員会になりました。2 年間よろしくお願いいたします。

2023 年も終わりに近づいています。今年は野球、バレーボール、バスケットボール、ラグビーと大きな大会があり、どのスポーツも盛り上がっていました。野球は優勝、バレー、バスケはオリンピック出場が決まりました。ラグビーも 2019 年の再現が期待されましたが残念な結果になりました。

我が家ではミニバスケをしている息子がテレビにかじりついてバレー、バスケ、ラグビー観戦を楽しんでいました。

バスケットボールワールドカップと映画「THE FIRST SLAM DUNK」の影響か、所属するミニバスケチームの新規入部が増え、4 月時点で 17 人だったのが 40 人近くに膨れ上がったそうです。ワールドカップが日本でも開催されたこと、子供が見やすい時間帯にテレビ観戦できたこと、また映画も若い時にマンガやアニメで見ていた親世代が一緒になって観たことでバスケへの関心が高まってのことなのだと思います。

2024 年もパリオリンピックなどスポーツイベントが続きます。プレイヤー，観戦者など楽しみ方はいろいろありますが、皆さんはどのように楽しまれるでしょうか？

（広報委員会 山田 貴史：化学同人）

● 第 73・74 期広報委員会 ●

委 員 長：牛来真也（コロナ社）
副委員長：曽根良介（化学同人）
委　　員：原　純子（オーム社）
　　山田貴史（化学同人）
　　門間順子（共立出版）
　　加藤義之（建帛社）
　　高田由紀子（恒星社厚生閣）
　　新井明良（コロナ社）
　　逸見健介（南江堂）
　　飯岡千恵子（丸善出版）